

本 2026

前期日程

令和 8 年度入学試験問題

実技検査 発想表現

(芸術地域デザイン学部 芸術表現コース)

— 解 答 上 の 注 意 事 項 —

1. 「解答始め」の合図があるまで問題を見てはならない。
2. 問題冊子、解答用紙および下書き用紙 3 枚がある。
3. 解答用紙は縦長に使用しても、横長に使用してもよいが、受験番号欄が画面裏の下になるようにすること。
4. 募集要項に記載した用具（鉛筆、消し具、鉛筆削り、直線定規、三角定規、コンパス）と与えられた画材以外は使用しないこと。
5. 問題冊子、下書き用紙および与えられた画材は持ち帰らないこと。

【問題】以下の文を読み、「設問」に答えなさい。

家族の形態には、核家族 (nuclear family)、拡大家族 (extended family) などの形態がある。拡大家族には、一組の夫婦とその子供たちの夫婦、さらにその孫たちの夫婦などが一緒に暮らすような合同家族 (joint family) や、一組の夫婦とその後継ぎの夫婦と孫たちが一緒に暮らすような直系家族 (stem family) がある。

日本の場合は、1960 年代に急激に核家族化が進み、現代では未婚化が進んだこともあり、単身世帯が増加していると言われている。フランスの場合は、1999 年に PACS (パックス、民事連帯契約) を施行した。この法律は同性愛者に婚姻と同等の税金や社会保障上の権利と義務を付与するために作られたものだが、経済的な分離や独立性が高く、離婚手続きが容易なため、異性愛者のカップルにも選ばれるようになっている。

出題者は 2010 年にイスラエルのキブツ (注 1) に滞在した際に、知人の家に招かれたが、その家は血縁のない若者を後見人として世話しており、そのような若者を何人も育てたという話を聞いた。それは、ユダヤの伝統であるとも説明された。1800 年にも及ぶとされるディアスポラ (diaspora 民族離散) の中で、孤児を引き取って養育する文化が発展したのだろうかと思像した。

出題者はここに、身寄りのない若者を引き取って育てるユダヤ文化の現代版を見るような思いがした。また出題者は、現代人は、従来の家族観とは異なる新しい拡大家族 (extended household) を模索しているのだろうかとも思った。

また、特に初期のキブツは社会主義の影響を受け、メンバーの平等と個人所有の否定が徹底されていた。子どもたちは肉親のもとから離され集団保育された。これは、育児の重荷から女性を解放し、伝統的ユダヤ文化の家父長制 (注 2) を解体するものであり、環境を変えることで人間の行動や本性を根本から作り直そうとする実験であった。

(注 1) キブツ：ヘブライ語で「集団」の意。社会主義の影響を受け、構成員間の平等・相互責任・個人所有の否定といった原則に従うもので、イスラエルの建国に大きく貢献したとされる。

(注 2) 家父長制：家族において年長の男性が権力を持つ制度。父親が決定権を持ち、母親は補佐的な立場であり、子どもは家父長に服従する。

〔設問〕

以上の話を踏まえて、「これまでになかった」、「ありえるかもしれない」未来の家族をひとつ「想像・創造」せよ。そこにどんな関係性や幸せを思い描くか。「想像・創造」したひとつの家族をもとに、その家族の写真を3枚描き、それぞれについてキャプション（説明文）を付しなさい。

なお、以下の「解答条件」に具体的な指示があるのでよく読み解答しなさい。

解答条件

- 1) 「想像・創造」したひとつの家族の写真を3枚描きなさい。そして、それぞれにキャプション（説明文）を付しなさい。
- 2) その3枚の家族写真とキャプション（説明文）のみから、その家族がどんな家族なのか、イメージできるように構成しなさい。
- 3) 家族写真3枚とキャプションを、プレゼンテーションボードに構成しなさい。その際のスタイルは、家族アルバムの1ページのようにしてもよいし、人類学者による民族誌のような学術的なスタイルにしてもよい。全体をどんなスタイルでまとめるかも考えなさい。
- 4) 「〇〇家のアルバムから」とか「〇〇家の民族誌的調査より」とか、タイトルも付しなさい。

